

2021(令和3)年6月22日

「BIOSTYLE PROJECT」推進に向け、 当社初のサステナビリティボンドを発行します。

京阪ホールディングス株式会社(本社：大阪市中央区、社長：石丸昌宏)は、環境・社会双方の持続可能性に貢献する事業の資金調達手段として、当社初となるサステナビリティボンドを2021年7月に発行いたします。

京阪グループでは、2018年5月に発表した「京阪グループ長期戦略構想」において、経営理念に基づき、健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現し、循環型社会に寄与するライフスタイル「BIOSTYLE」^{ビオスタイル}を中心に社会課題の解決に資する商品・サービス・事業を創造するとともに、ESG(環境・社会・ガバナンス)を考慮した事業活動を強化することにより、SDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献し、社会と調和した持続的成長を目指しています。

こうした考えのもと、「BIOSTYLE」を“京阪版SDGs”と位置づけ、2019年12月に京都・四条河原町に「BIOSTYLE」のフラッグシップ施設「GOOD NATURE STATION」を開業したほか、「BIOSTYLE」に資する事業の認証制度を設ける(2021年6月22日現在31件を認証)など、グループ全体で「BIOSTYLE PROJECT」を推進しています。

この度、「BIOSTYLE PROJECT」をさらに推進していくため、サステナビリティボンドの発行を決定いたしました。今後もお客さま、地域社会、株主・投資家、取引先などのさまざまなステークホルダーに対し、「BIOSTYLE PROJECT」を通じたサステナビリティ経営の推進を発信し、持続的な成長につなげるとともに企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

発行概要、調達資金の使途等、詳細は以下のとおりです。

1. 発行概要

社債の名称	京阪ホールディングス株式会社第36回無担保社債 (特定社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)
発行総額	100億円程度(予定)
発行年限	10年(予定)
発行時期	2021年7月
主幹事証券会社	SMBC日興証券、大和証券、野村証券
ストラクチャリング・エージェント	SMBC日興証券

※「ストラクチャリング・エージェント」とは、サステナビリティボンドのフレームワークの策定および外部評価(セカンドオピニオン)の取得に関する助言等を通じてサステナビリティボンドの発行支援を行うものを指します。

※その他詳細は、決定後にお知らせいたします。

2. サステナビリティボンド・フレームワークの策定および外部評価(セカンドオピニオン)の取得

サステナビリティボンドの発行にあたり、国際資本市場協会(ICMA)が定めるサステナビリティボンドガイドライン等に基づき、①調達資金の使途、②プロジェクトの評価及び選定のプロセス、③調達資金の管理、④レポート等の方針を記載したサステナビリティボンド・フレームワークを策定しました。また、本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、サステナビリティボンドガイドライン等の原則との適合性に対する外部評価(セカンドオピニオン)を取得しています。

■サステナビリティボンド・フレームワーク

(URL : <https://www.keihan-holdings.co.jp/ir/library/sustainability-bond/framework2021.pdf>)

■サステナビリティボンドガイドライン等の原則との適合性に対する外部評価

(URL : https://www.keihan-holdings.co.jp/ir/library/sustainability-bond/second_opinion2021.pdf)

3. 調達資金の使途

本サステナビリティボンドにて調達した資金は、以下のプロジェクトに充当する予定です。

対象事業	該当するSDGs	概要
<p>鉄道車両の省エネルギー化 事業例：車両新造(京阪電車 13000 系)</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>・京阪電車 13000 系は、アルミ合金を用いた「軽量化車体」を採用しているほか、電力を効率よく利用する「VVVF (Variable Voltage Variable Frequency) インバータ制御装置」、「回生ブレーキ」などを導入しています。走行時の消費電力を従来車両(2600 系)との比較で約 35%削減し、「クリーン輸送」の実現に貢献します。</p>
<p>環境配慮型建物 事業例：GOOD NATURE STATION</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>・「GOOD NATURE STATION」は、2019 年 12 月、「BIOSTYLE」の発信拠点として、京都の繁華街にあたる四条河原町に開業した複合商業施設です。低層階の商業ゾーンでは、オーガニック食品や自然由来の成分のみを使用した化粧品などを販売、高層階の「GOOD NATURE HOTEL KYOTO」では、宿泊だけでなく、ヨガ、座禅体験などのアクティビティを通じて「心と身体の心地よさを追求しつつ、地球環境にも配慮したライフスタイル」を提案しています。</p> <p>・同施設は環境性能評価システムの CASBEE A ランク、LEED Silver を取得しています。加えて、環境や健康に配慮した認定プログラムである WELL Building Standard(WELL)では、世界初となるホテル版の評価基準で Gold を取得しています。</p>

対象事業	該当するSDGs	概要
<p>環境負荷軽減素材を使用した製品の調達・使用</p> <p>事業例：「NEMOHAMO」「GOOD NATURE MARKET」における脱プラスチックの取り組み</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>14 海の豊かさを 守ろう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「NEMOHAMO」は、「GOOD NATURE STATION」から発信するオリジナルコスメブランドで、水や石油由来の原料を一切使うことなく、天然成分のみで製品化した完全自然派コスメです。脱プラスチック実現のため、バイオプラスチックなど可能な限り環境に配慮した容器、化粧箱、輸送箱を採用しています。 ・同施設内で展開する食の安全を意識した「GOOD NATURE MARKET」では、バタフライカップ等の紙製容器や、生分解性プラスチック由来のカトラリーを使用しています。
<p>サステナブルな原料の調達・使用</p> <p>事業例：「RAU」「SIZEN TO OZEN」におけるフェアトレードカカオを使用した商品</p> 	<p>1 貧困を なくそう</p>  <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p>  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「GOOD NATURE STATION」から発信するオリジナルスイーツブランド「RAU」で販売するチョコレートは、フェアトレードかつ無農薬の上質なカカオ(ファインカカオ)を使用しています。 ・通常廃棄するカカオの外皮(ハスク)は、カカオティーやカカオカレーなど、オリジナルフードブランド「SIZEN TO OZEN」のカカオシリーズの原料として活用し、食品ロスの軽減とともに、新たな価値として再生しています。

4. 京阪グループが取り組む「BIOSTYLE PROJECT」とは

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現し、循環型社会に寄与するライフスタイル「BIOSTYLE」の実現を目指す取り組み。特に、規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現を目指す活動”として、さまざまな商品・サービスを展開しています。

取り組み事例の紹介はこちらから (URL : <https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>)